

ASPIC、「生成 AI 利用クラウドサービス認定」を一挙に 4 サービス認定！「ASP・SaaS 認定」の 2 サービスを加え累計 344 サービスへ ～安心・安全なクラウドの普及を推進。各種無料キャンペーン実施中～

一般社団法人 日本クラウド産業協会（通称：ASPIC、東京都品川区西五反田、会長：河合 輝欣）は、2026 年 10 月 1 日に開催された第 75 回認定審査委員会において、厳正なる審査の結果、新たに 6 件のクラウドサービスに「安全・信頼性に係る情報開示」が適切に行われていることを認定いたしました。

今回の認定では、2026 年 7 月 1 日より運用開始した「生成 AI 利用クラウドサービス（ASP・SaaS）の安全・信頼性に係る情報開示認定制度」（詳細別紙）における認定が一挙に 4 サービス誕生いたしました。

これにより、ASPIC による情報開示認定サービスは累計 344 サービス（230 社）に達しました。

1. 新規認定サービス一覧・概要（認定日：2026 年 10 月 2 日）

新認定制度で初めて認定を取得した生成 AI 活用サービスを含む、以下の 6 サービスが新たに認定されました。（図-1）

生成 AI 利用クラウドサービス（ASP・SaaS）の安全・信頼性に係る認定制度

① サービス名：メンタルマップ

事業者名：株式会社 DAHTA

サービス概要：人事労務担当者や経営層向けに、多言語対応のストレスチェック実施や組織の集団分析、産業医面談管理、個人情報除外したセキュアな AI 改善提案等を通じて、メンタルヘルス課題の早期把握と法令遵守に基づく健康経営の推進を支援するクラウドサービス

② サービス名：クロスアクシア（Cross Axia）

事業者名：マーカーネット株式会社

サービス概要：現場のリーダー向けに、行動特性の解析やアンケート、生成 AI を用いた個人・相性の分析、チーム編成のシミュレーション等を通じて、適切な人材配置や不本意な離職の兆候の可視化を行い、メンバーへのケアや抜擢といった人事労務管理を支援するクラウドサービス

③ サービス名：戦術日報ショウヘイ

事業者名：マーカーネット株式会社

サービス概要：現場の管理者やメンバー向けに、アカウント登録が不要な日報入力や AI メンターによる即時フィードバック、日次・週次・月次の 3 層自動要約、要対応事項の検知等を通じて、日報の形骸化防止と管理者の確認負担軽減といった業務効率化を支援するクラウドサービス

- ④ サービス名： QRUU（クルー）
 事業者名： 株式会社テクヌート
 サービス概要：採用担当者や面接官向けに、対話型 AI 音声面接官による深掘り質問の自動化や発言根拠付き評価レポート作成、選考パイプライン管理等を通じて、一次選考の迅速化と日程調整ロスの削減といった採用実務の効率化を支援するクラウド採用管理サービス

ASP・SaaS の安全・信頼性に係る情報開示認定制度

- ⑤ サービス名： SP-FAX
 事業者名： 株式会社 SPREAD
 サービス概要：インターネット経由での FAX 送受信や受信 PDF の閲覧・保存、権限管理、REST API による基幹システム連携等を通じて、場所を選ばない FAX 処理と文書の一元管理といったペーパーレス業務を支援するクラウド FAX サービス
- ⑥ サービス名： Cuenote Push
 事業者名： ユミルリンク株式会社
 サービス概要：個人情報の取得やアプリのインストールが不要な Web プッシュ通知配信、ダイアログや表示時間のカスタマイズ、外部システム連携 API 等を通じて、顧客への迅速な情報到達とサイトへの再訪問・購買行動の促進を支援するクラウドマーケティングサービス



図-1

(※ 認定サービスの開示情報は、認定サイトにて公開しております。
<https://www.aspicjapan.org/nintei/>)

2. クラウドサービス事業者様へ：今こそ認定を取得すべき理由

現在、国内外で 1,000 を超える生成 AI クラウドサービスが提供される中、利用者は「どのサービスが安全なのか」の判断に強い不安を抱えています。独立行政法人情報処理推進機構（IPA）の調査によれば、**SaaS 利用者の約 44%が「情報開示認定」を選定条件または選定時の参考にしている**と回答しています。

第三者機関である ASPIC の認定マークを取得することは、「**公的ガイドラインに準拠した安心・安全なサービス**」という**客観的な証明**となり、競合他社との強力な差別化および大手企業・自治体等からの引き合い増加（選定率向上）に直結します。

3. 認定サービス更新の報告（計 15 サービス）

第 74 回認定審査委員会以降に受け付けた更新申請（15 サービス）につきましては、引き続き安全・信頼性に係る情報開示が適切に行われていると認め、有効期間を更新いたしましたので報告いたします。

項番	認定番号	サービス名称	事業者名称
1	0159-1208	Multiverse	株式会社ネットラーニング
2	0162-1208	mobiconnect	インヴェンティット株式会社
3	0205-1608	Ex-Trade	株式会社コデックス
4	0206-1608	SWING クラウドサービス	株式会社 CIJ
5	IP0011-1608	Smart Data Platform クラウド/サーバー	NTT ドコモビジネス株式会社
6	IP0007-1408	FOCUS スパコン	公益財団法人 計算科学振興財団
7	0179-1408	おまかせファイルサーバー	株式会社クロスパワー
8	0118-1102	Cuenote FC	ユミルリンク株式会社
9	0263-2205	Cuenote SR-S	ユミルリンク株式会社
10	0264-2205	Cuenote Survey	ユミルリンク株式会社
11	0265-2205	Cuenote SMS	ユミルリンク株式会社
12	0266-2205	Cuenote 安否確認サービス	ユミルリンク株式会社
13	0271-2209	テクマトリックス Redmine クラウドサービス	テクマトリックス株式会社
14	0272-2209	Cuenote Auth	ユミルリンク株式会社
15	0273-2209	SalonAnswer	エクシードシステム株式会社

4. 一般社団法人 日本クラウド産業協会（ASPIC）について

ASPIC は、1999 年に創立された、日本初※のクラウド業界団体です。創立以来四半世紀にわたり、「ASP・SaaS・クラウドの普及促進と市場拡大」「安心・安全なクラウドサービスの推進」「ASPIC の組織強化と社会的なプレゼンスの向上」を目標に掲げ、日本の情報通信産業の発展に取り組んでまいりました。現在、会員数は 1,400 社を超え、AI 時代における新たなビジネスの創出と支援を推進しています。

<https://www.aspicjapan.org/>

※当団体調べ(インターネット白書 ARCHIVES より)

5. 本件連絡先（申請受付窓口）

一般社団法人日本クラウド産業協会
クラウドサービス情報開示認定機関 事務局
〒141-0031
東京都品川区西五反田 7-17-7 五反田第1noteビル5F
担当 : 池田・尾坂
TEL : 03-6662-6854
Fax : 03-6662-6347
mail : aspic@cloud-nintei.org
認定サイト : <https://www.aspicjapan.org/nintei/>

(別紙)「生成 AI 利用クラウドサービス (ASP・SaaS) 情報開示認定制度」概要

1. 制度創設の背景と目的

生成 AI 技術の飛躍的進展に伴い、既存のクラウドサービスに生成 AI 機能を組み込んだ「生成 AI 利用クラウドサービス (ASP・SaaS)」が爆発的に増加しています (国内外で 1,000 以上提供)。しかし、AI 特有のリスク (ハルシネーション、プロンプトインジェクション、権利侵害等) に対する不安から、利用者が安心してサービスを選択・導入することが難しくなっています。本制度は、国際規範や公的指針に基づき、**事業者が正しく情報を開示していることを客観的に認定**することで、利用者が安心して選べる環境を整え、日本の生成 AI クラウド産業の健全な拡大・発展に寄与することを目的としています。

2. 本制度の強みと独自指針の特色

ASPIC が 18 年の認定運用実績、生成 AI に関する政府系ガイドライン、国際行動規範、国際標準等を結集し、独自の「生成 AI 利用クラウドサービス (ASP・SaaS) の安全・信頼性に係る情報開示指針 (第 1.0 版)」を策定いたしました。

(※詳細は、<https://aspicjapan.org/nintei/ga-nintei/idp-publish/> にて公開中)

3. 新制度で重点的に評価・開示を求める主要項目

生成 AI 利用クラウドサービスでクラウド利用者に開示すべき情報は、次の通りです。

(1) ガバナンス・運営体制：

AI リスクアセスメントの実施および報告書の開示、AI 倫理方針・AI ポリシー・インパクトアセスメントの公表、権利侵害申し出・苦情対応窓口の設置および従業員に対する AI 特有のセキュリティ教育の実施等

(2) 透明性・データ管理：

利用基盤 AI モデル等の情報開示 (モデル選定基準含む)、利用者データの追加学習への使用有無および同意取得方法、学習済みモデルおよび入力データの権利関係・所有権の明示、及び人間の判断介入の有無と損害賠償等の責任分担の明確化等

(3) セキュリティ・安全性：

プロンプトインジェクション等の不正指示対策 (ガードレール実装)、ハルシネーション (出力の正確性・信頼性向上) 対策、AI システムに対する敵対的テスト (レッドチーム等) の実施および RAG 利用時等のアクセス権限に応じたデータ参照制限 (ポイズニング対策) 等

4. 申請事業者様が得られる大きなメリット

下図 2 のとおり、本認定制度取得により数多くのメリットがあります。

「生成 AI 利用クラウドサービス (ASP・SaaS) 情報開示認定制度」の特徴

<クラウドサービス事業者にとってのメリットと意義>

- 生成 AI 特有のリスクへの対応力を客観的に証明し、他社と差別化**
生成 AI 特有のセキュリティやガバナンスに適切に対応していることを第三者機関が認定し、他社サービスとの明確な差別化を図れます。
- 国内外の最新 AI ルール・ガイドラインへの準拠を強力にアピール**
「AI 事業者ガイドライン」や「G7 広島プロセス国際行動規範」など最新の国際ルール等を網羅した、ASPIC の情報開示指針を満たすことで、高度なコンプライアンス体制を社外に示せます。
- ブラックボックス化の不安を払拭し、ビジネス拡大・選定率を向上**
利用基盤モデルや AI の出力に関する責任分担などの「透明性」を適切に開示し、利用者の不安を解消します。また、SaaS 利用者の約 44% が「情報開示認定」を参考しているため、取得が直接的な選定率向上やビジネス拡大につながります。
- 新制度でも安心の「手厚いサポート」と「圧倒的な低コスト」**
事務局による無料の個別相談など丁寧な支援を提供します。また、類似のセキュリティ認証制度に比べ非常に安価な審査料金で認定取得が可能です。
(※制度開始を記念し、2027 年 3 月末まで新規申請手数料無料)



認定マーク



認定証

図ー2